

<b>科目名：微生物と人間生活</b> (Microbiology and Human Life) 履修年次/時期：1年次 後期 授業形態：講義 担当教員：浜田信城、倉橋絢子		必	1単位
学修目的	微生物学の基本知識とともに、生活環境において人体に感染症を起こす微生物（細菌・真菌・ウイルス・原虫）について学ぶ。各微生物の性質・および主な病原微生物の病原性に関わる性状（病原因子）を理解した上で、感染症の予防・治療法および検査法の知識を修得する。また、感染症に対する生体防御機構である免疫についても理解する。 DP 1,2,3 およびCP 2、3、4 に関連する。 科目 No.KSI-123		
到達目標	① 人間生活における微生物の歴史的な関わりを説明できる。 ② 微生物の種類：細菌・真菌・原虫・ウイルスの主な性質および細菌の芽胞と真菌の胞子が説明できる。 ③ 細菌・真菌・ウイルス・原虫の性質：形態・構造・機能・培養（増殖様式）の主な特徴の違いが説明できる。 ④ 感染症：微生物（細菌・真菌・ウイルス・原虫）による感染機構・感染の成立から発症から治癒までの主な特徴が説明できる。食中毒と性感染症の特徴と原因微生物が説明できる。 ⑤ 感染に対する生体の防御機構：自然免疫・獲得免疫（抗原・抗体）・粘膜免疫のしくみが説明できる。 ⑥ 感染症防止と治療：滅菌と消毒・化学療法薬〔抗菌薬（耐性菌を含む）・抗結核薬・抗真菌薬・抗ウイルス薬〕の特徴が説明できる。 ⑦ 主な病原微生物：病原細菌・病原真菌とそれぞれの感染症の特徴が説明できる。 ⑧ ウイルス感染症：主なDNA/RNA ウイルスとそれらウイルス感染症の特徴が説明できる。ワクチンについて種類と特徴が説明できる。		
授業概要	講義：人体に感染症を起こす微生物を対象に、微生物の性質、生態を含め病原微生物学総論を学ぶ。さらに感染と発病の関係や感染防御のための免疫・感染予防・感染の検査方法、治療に関する基礎知識について学ぶ。		
評価方法	講義終了時の確認試験（30%）、本試験（60%）および受講態度（10%）により評価する。 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・ 復習時間	【予習】1.9時間 【復習】1.9時間		
教科書	疾病のなりたちと回復の促進[4] 微生物学 (系統看護学講座 専門基礎分野) (医学書院)		
参考書	病気がみえる (vol. 6) 免疫・膠原病・感染症 医療情報科学研究所編集 (メディックメディア)		
オフィス- 連絡先	17:00~19:00 浜田信城：第2研究棟6階 微生物学研究室 hamada@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします。 倉橋絢子：第2研究棟6階 微生物学研究室 kurahashi@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします。		